

【協働会社仕入先担当者向け】 CUREシステムログイン手順書

2023年1月25日

コーポレート統括本部ITマネジメント室

目次 (1/2)

1.はじめに (必読注意事項)

2.初回ログイン手順 (スマートフォンが利用できる場合)

2-1.初回ログイン手順 アカウント発行完了通知メール確認

2-2.初回ログイン手順 パスワード設定

2-3.初回ログイン手順 MFA有効化手順

2-4.初回ログイン手順 ログイン成功時画面

3.次回以降ログイン手順 (スマートフォンが利用できる場合)

2.初回ログイン手順 (スマートフォンが利用できる場合) が完了している方は、こちらをご確認ください。

目次 (2/2)

4.初回ログイン手順 (スマートフォンが利用できない場合)

4-1.初回ログイン手順 拡張機能 (Authenticator) の導入

4-2.初回ログイン手順 CUREシステムへログイン

4-3.初回ログイン手順 拡張機能 (Authenticator) のペアリング

4-4.初回ログイン手順 マルチファクタ認証 (MFA) の有効化

5.次回以降ログイン手順 (スマートフォンが利用できない場合)

4.初回ログイン手順 (スマートフォンが利用できない場合) が完了している方は、こちらをご確認ください。

参考

1.はじめに

1.はじめに（必読注意事項）

- 本書はGAIA.netにおける以下のサービスの**初回ログイン操作手順書**となります。サービスメニュー操作については本手順書では記載しておりません。

- CUREシステム

- ▼ サービスTOPページ

<https://gfsnep00.service-now.com/>

また、本書は**仕入先アカウントでログインする場合の操作手順書**となります。協働者アカウント（Uアカウント）に仕入先アカウント権限を付与した場合のログイン方法は、[こちら](#)を参照ください。

- システム利用に際しては、事前に仕入先担当者アカウントの払い出し手続きが完了しており、**【UIM】アカウント発行完了通知メールを受領した翌日から**利用が可能となります。
- 推奨ブラウザは、GoogleChrome、MicrosoftEdgeとなります。それ以外でのブラウザはサポート対象外となります。

1.はじめに（必読注意事項）

- 仕入先アカウントで操作する場合、自社NW環境を推奨いたします。
NTTデータ常駐者でBizXaaS Office（BXO）環境等で利用する場合、
認証の問題等により正常に動作しない場合がございます。
- 初回および次回以降のログインにおいては、私用または業務用のスマートフォンが
必要となります。 所有していない場合や継続的に利用できない場合、何らかの事情で
本手順書で指定するアプリケーションをインストールできない場合は、
貴社のしかるべき部署、担当者へご相談ください。
※当社からの貸与は行っておりません。
また、アプリケーションインストール等にかかる通信費等は利用者負担となります。
※スマートフォンが利用できない方は、Google Chromeの拡張機能（Authenticator）
を利用したログイン方法もございます為、お試しください。
- 本手順に記載のOkta Verifyの画面キャプチャはver7.10.2で取得しています。
アプリのバージョンアップ等により画面仕様等の変更に大幅な改修があった場合、
操作方法が変更となった場合を除き、キャプチャ差し替えは実施いたしません。

2.初回ログイン手順 (スマートフォンが利用できる場合)

2-1.初回ログイン手順 アカウント発行完了通知メール確認

仕入先担当者アカウント払い出し通知メールを確認します。

※本メールを受領した翌日からログイン可能となるので、ご注意ください。

メール件名『【UIM】アカウント発行完了通知』

```
*****↓
本メールはシステムより自動で送信しております。(送信専用です。)↓
本メールへの返信によるご質問等はお受けできませんので、予めご了承ください。↓
ご質問等は、各お問い合わせ先までお願いします。↓
*****↓

■■■■様↓

[アカウント発行完了のお知らせ] ↓
以下の処理が完了しましたので、お知らせします。↓

アカウント発行日 :YYYY/MM/DD↓
ユーザー名 (Username): ■■■■■■■■■■↓
連絡先メールアドレス : ↓
使用停止年月日 :YYYY/MM/DD↓

■翌日から協働者 ID 管理(CURE)へログイン可能となります。↓
■初回ログインする際はパスワードの設定が必要となります。↓
ログイン画面のリンク「パスワードを忘れた場合」(Forgot Password?)を↓
クリックし、上記「ユーザー名」と「連絡先メールアドレス」を用いて↓
パスワードを設定してください。↓
*****↓
CURE サードスホームページ: ↓
【 https://gfsnep00.service-now.com/ 】
*****↓
```

ログインIDとなります。

※NTTデータおよびG会社の方は、UIMで参照できる個人ID (XPから始まる番号)とは異なり、当メールで通知される個人IDをご利用ください

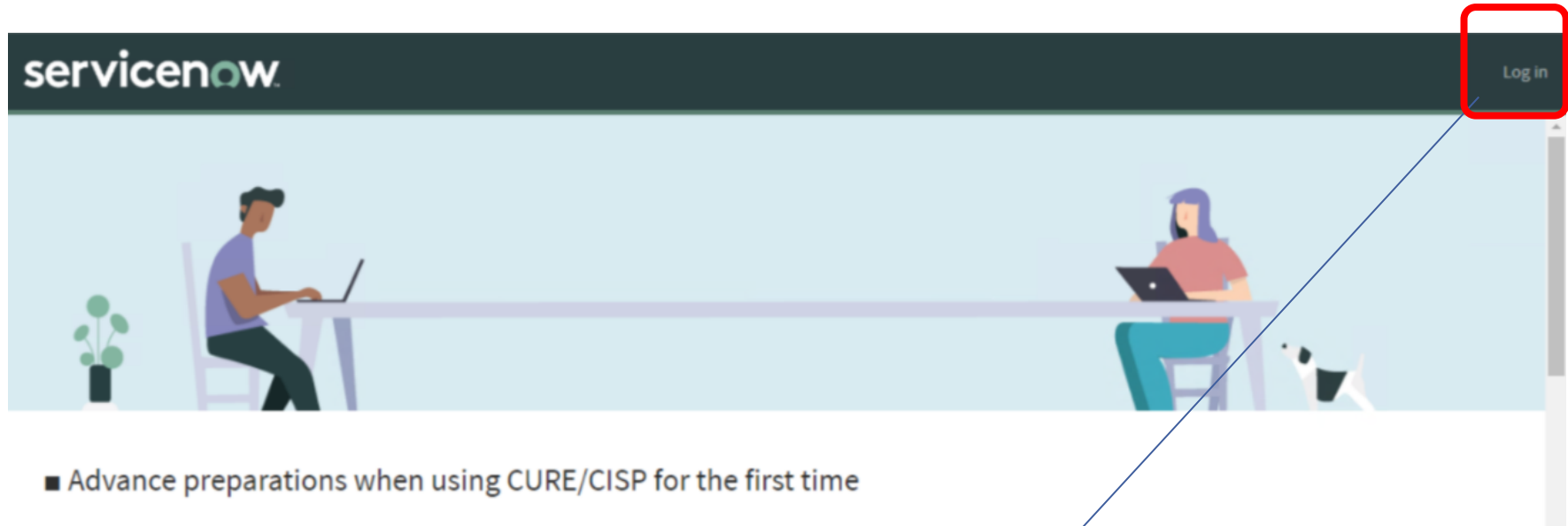
初回ログイン時は記載の通りご対応ください。

こちらからログインください。

2-2.初回ログイン手順 パスワード設定

下記のログイントップページが表示された場合、下記の操作を実施してください。

※下記画面が表示されず、認証画面が表示された場合は、本ページの操作は不要となります。次頁をご確認ください。



Loginを押下

2-2.初回ログイン手順 パスワード設定

下記の認証画面にて、Languageを日本語に変更したうえで、“パスワードを忘れた場合”を押下してください。

※ 『【UIM】アカウント発行完了通知』に記載の初回ログイン操作となります。

The image shows three sequential screenshots of a login form, connected by blue arrows pointing from left to right. Each screenshot shows a form with fields for 'User name', 'Password', and 'Language'. In the first screenshot, the 'Language' dropdown is set to 'English' and is highlighted with a red box. In the second screenshot, the 'Language' dropdown is set to '日本語' (Japanese) and is highlighted with a red box. In the third screenshot, the 'Language' dropdown is set to '日本語' and the 'パスワードを忘れた場合' (Forgot Password) link is highlighted with a red box. A blue arrow points from the third screenshot to a box containing the text '初回のみこちらを押下' (Click here only on the first time).

初回のみこちらを押下

2-2.初回ログイン手順 パスワード設定

下記の画面にて、ユーザー名（※）を入力し、CAPTCHAに表示された文字を入力欄に正しく入力してください。入力完了後、次へ を押下してください。

（※）ユーザ名は『【UIM】アカウント発行完了通知』に記載のユーザー名（Username）を入力ください。



The screenshot shows a login form with the following elements:

- A red asterisk followed by the text "ユーザー名" (Username).
- A text input field containing a vertical bar cursor, highlighted with a red border.
- A red asterisk followed by the text "CAPTCHA".
- A CAPTCHA image showing the text "kg3d2" with a red border.
- A small square button with a refresh icon (circular arrow) next to the CAPTCHA image.
- A text input field containing the instruction "上の画像に表示されている文字を入力してください" (Please enter the characters displayed in the image above), highlighted with a red border.
- A green button with the text "次へ" (Next), highlighted with a red border.

項目を入力後、次へを押下

2-2.初回ログイン手順 パスワード設定

下記の画面にて、メールアドレス（※）を入力し、次へ を押下してください。

（※）メールアドレスは『【UIM】アカウント発行完了通知』に記載の連絡先メールアドレスを入力ください。

パーソナルデータ検証 - メールアドレス

* メール

項目を入力後、次へを押下

2-2.初回ログイン手順 パスワード設定

下記の画面にて、完了を押下してください。

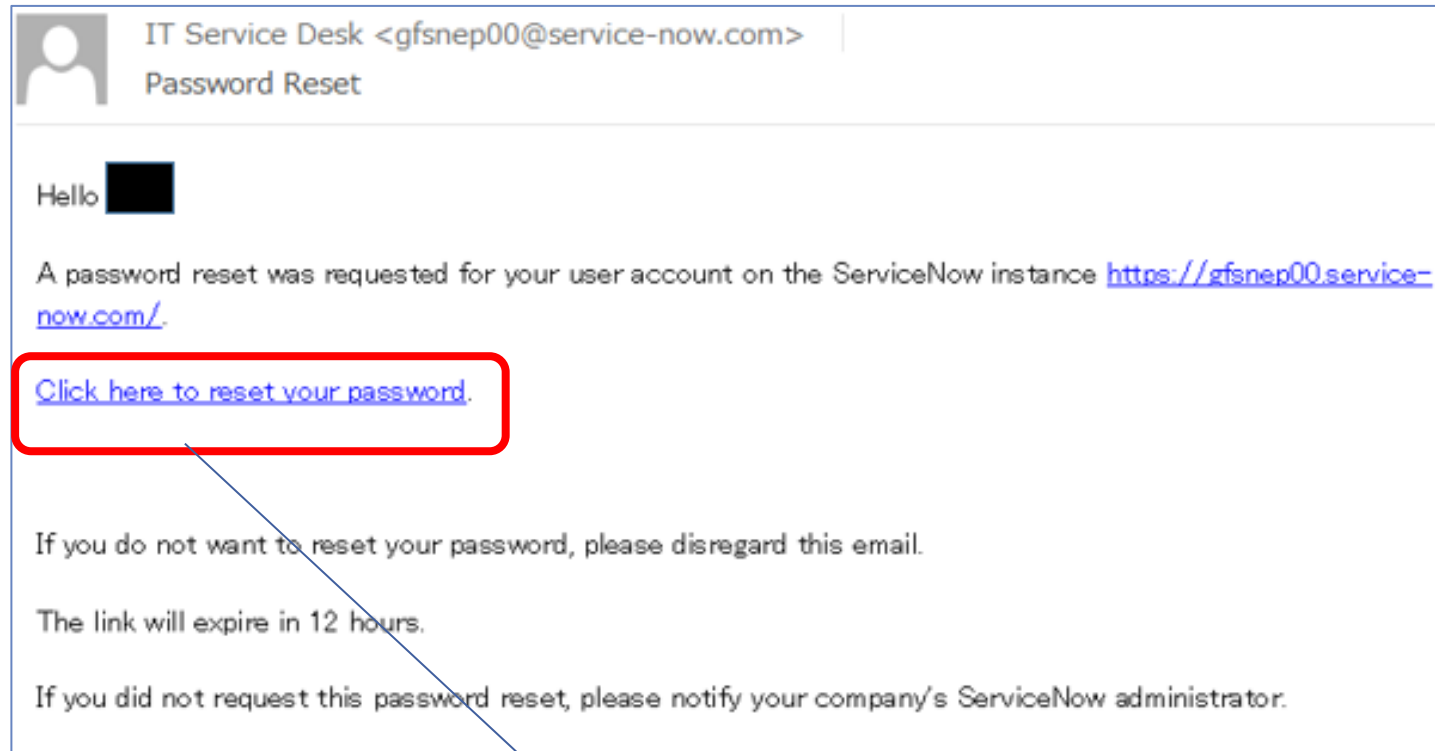


完了を押下

2-2.初回ログイン手順 パスワード設定

メール受信トレイに下記のメールが届いていることを確認し、
Click here to reset your passwordを押下してください。

※メールが届かない場合は、メールアドレスの入力に誤りが無いか確認をお願いします。



URLを押下

※1.はじめにに記載の推奨ブラウザで展開をお願いします。

2-2.初回ログイン手順 パスワード設定

下記のパスワード入力画面で新しいパスワードを設定のうえ、パスワードのリセットを押下してください。

パスワードのリセット

アカウントはロックされていません

* 新しいパスワード

安全性

- ⊗ 最小8文字
- ⊗ 最大40文字
- ⊗ 少なくとも1文字の小文字
- ⊗ 少なくとも1文字の大文字
- ⊗ 少なくとも1文字の数字

* パスワードの再入力

パスワードを表示

パスワード入力後、パスワードのリセットを押下ください。
※自動設定されたパスワードを新たなパスワードに更新するという意味で、パスワードのリセットという表現になっております。

2-2.初回ログイン手順 パスワード設定

前頁で設定したパスワードでログインするため、

<https://gfsnep00.service-now.com/> にアクセスし、認証画面にてLanguageを日本語に変更したうえで、ユーザ名、パスワードを入力し、ログインを押下してください。

※ユーザ名：『【UIM】アカウント発行完了通知』に記載のユーザー名（Username）

パスワード：初回ログイン手順で設定したパスワード

The diagram illustrates the login process in three stages, connected by blue arrows:

- Step 1:** The login form has fields for 'User name', 'Password', and 'Language'. The 'Language' dropdown menu is highlighted with a red box and shows 'English' selected.
- Step 2:** The 'Language' dropdown menu is highlighted with a red box and shows '日本語' (Japanese) selected.
- Step 3:** The 'Language' dropdown menu is highlighted with a red box and shows '日本語' (Japanese) selected. The 'ログイン' (Login) button is highlighted with a red box.

ログインを押下

2-3.初回ログイン手順 MFA有効化手順

前頁のパスワード設定完了後、下記の画面となります。

本手順を実施するに私用または業務用のスマートフォンが必要となります。

マルチファクタ認証 (MFA) を有効にする

[詳細を見る](#)

1. 時間に基づくワンタイムパスワード (TOTP) をサポートする認証アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。詳細については、[ドキュメント](#)を参照してください。

2. アプリを開き、この QR コードをスキャンして、モバイルデバイスをペアリングします



3. 認証アプリで生成されたコードをテキストフィールドに入力します

6桁のコード

デバイスのペアリングとログイン

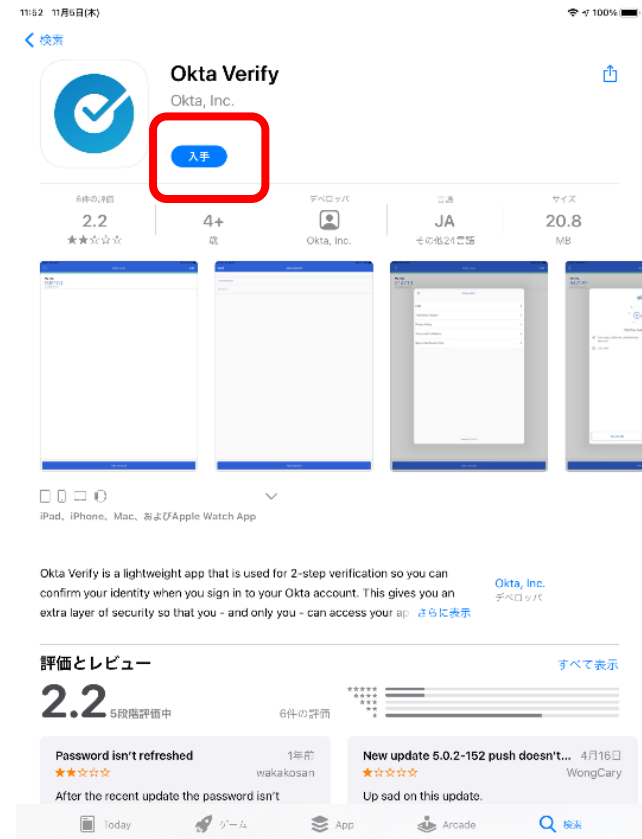
2022/12/7時点でドキュメントが表示されない場合があるため、表示されない場合は[次頁の手順](#)をご参照ください。

既にOktaVerifyをインストール・設定している場合は、本QRコードを読み取り、表示されたパスワードを 3.入力し、デバイスのペアリングとログインを押下してください。
※以降の初回インストール手順は飛ばしてください。

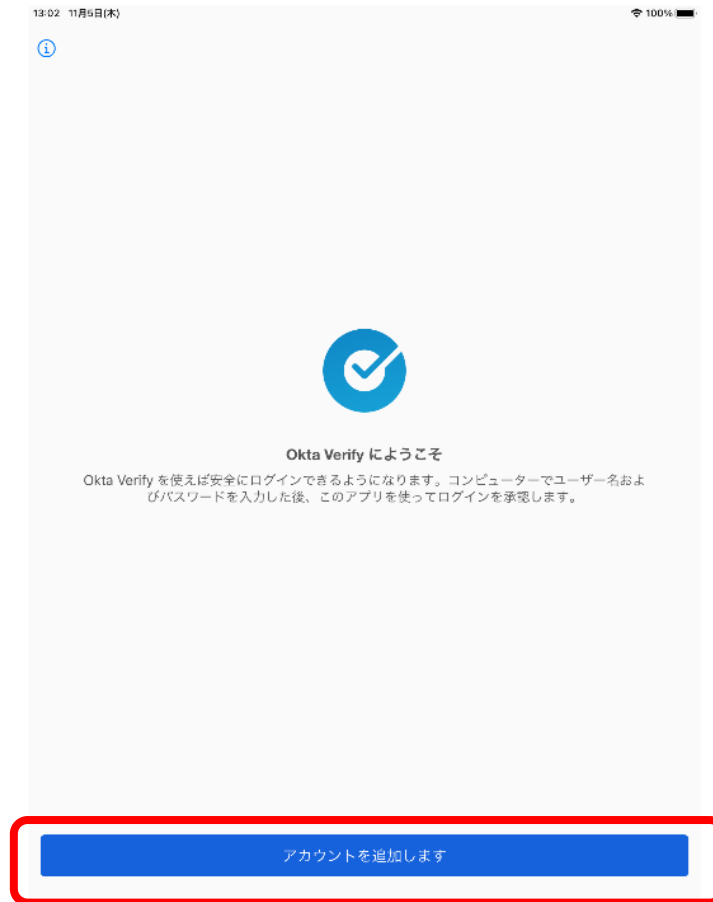
マルチファクタ認証（MFA）を有効化するために以下のアプリをインストール願います。

■ Okta Verify初回設定操作方法

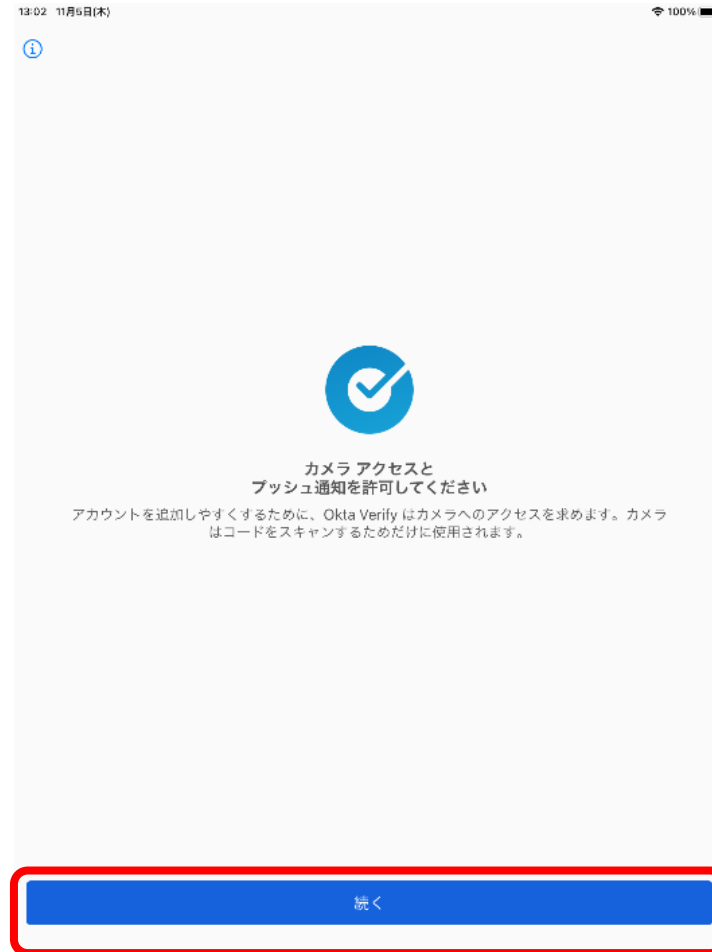
- ①スマートフォンでAppleStoreまたは Google Playストアを表示します。
- ②アプリ検索で『Okta Verify』を検索し、ダウンロード画面に表示します。
- ③「入手」をタップし、ダウンロードします。



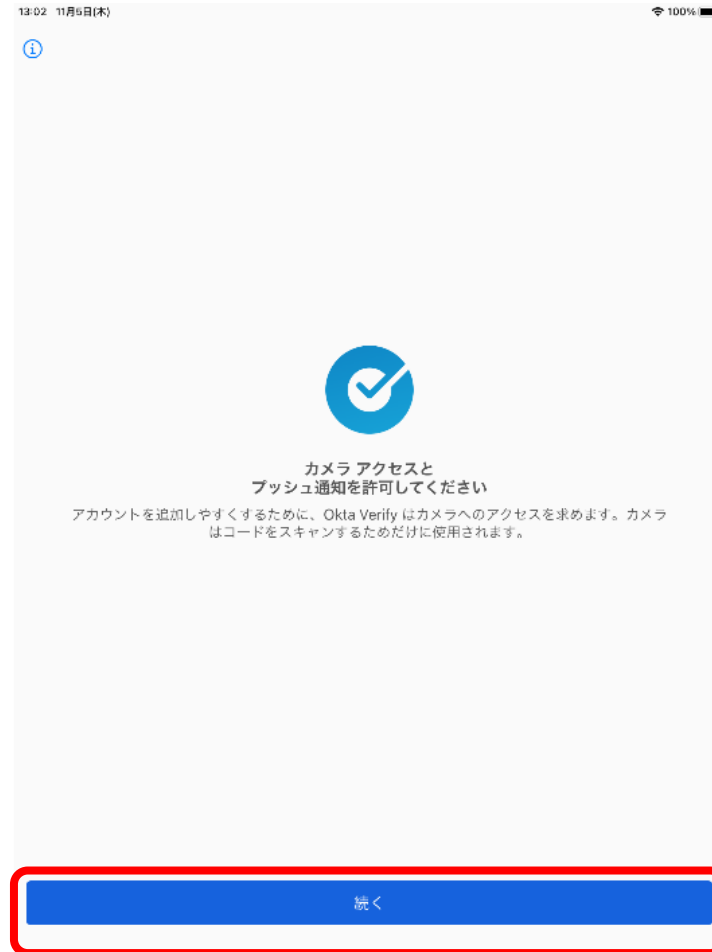
④アプリの初回起動後、OktaVerifyへようこそその画面でアカウントを追加します を押下してください。



⑤カメラアクセスとプッシュ通知を許可してくださいの画面にて、**続く**を押下してください。



⑥メニューまたは画面上部のバーカメラアクセスとプッシュ通知を許可してください にて続くを押下してください。



⑦メニューまたは画面上部のバーのアカウントの追加（+のアイコン）よりアカウントの種類を選択肢で、『会社名』を選択してください。

⑧QRコードはお持ちですか？の画面で『はい、スキャンできます』を選択してください。

⑨QRコード読み取りにて、PC画面に表示されているマルチファクタ認証（MFA）を有効化画面のQRコードを読み取り下さい。

マルチファクタ認証 (MFA) を有効にする

[詳細を見る](#)

1. 時間に基づくワンタイムパスワード (TOTP) をサポートする認証アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。詳細については、ドキュメントを参照してください。
2. アプリを開き、この QR コードをスキャンして、モバイルデバイスをペアリングします
3. 認証アプリで生成されたコードをテキストフィールドに入力します

6桁のコード

デバイスのペアリングとログイン



2-3.初回ログイン手順 MFA有効化手順

スマートフォン操作

⑩スマートフォン画面にて、認証が有効化され、ユーザー名 (Username) のアカウントが設定され、ワンタイムパスワード (6桁) が表示されます。



435562

⑪下記の画面のコード入力欄にて、ワンタイムパスワードを入力し、デバイスのペアリングとログインを押下してください。

マルチファクタ認証 (MFA) を有効にする

[詳細を見る](#)

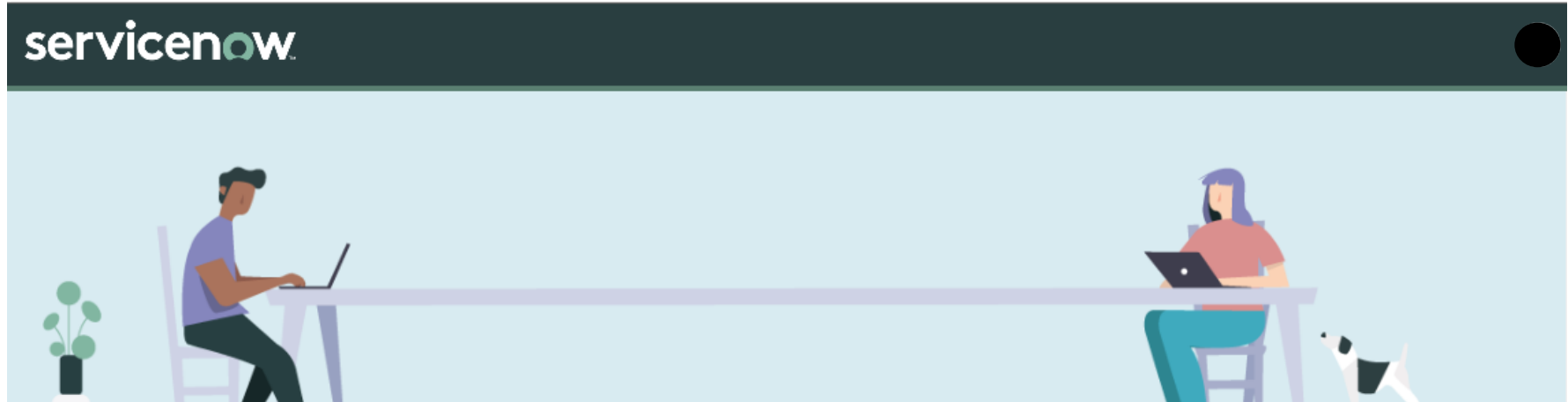
1. 時間に基づくワンタイムパスワード (TOTP) をサポートする認証アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。詳細については、ドキュメントを参照してください。
2. アプリを開き、この QR コードをスキャンして、モバイルデバイスをペアリングします
3. 認証アプリで生成されたコードをテキストフィールドに入力します



パスワード入力後、こちらを押下

2-4.初回ログイン手順 ログイン成功時画面

下記の画面に遷移したら、初回ログイン完了となります。



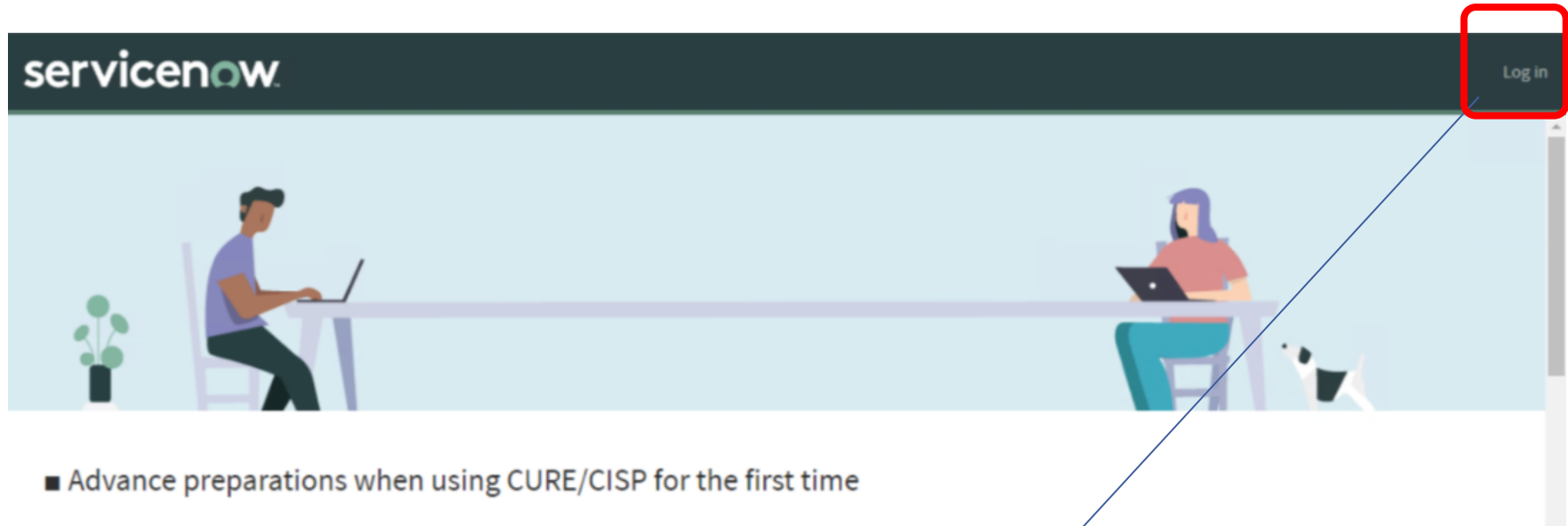
CISPシステム・CUREシステムへのアクセスはこちら

上記リンクからCISPシステム・CUREシステムへアクセスできます。ログインユーザの保持する権限に応じ、遷移先画面で表示されるメニューは異なります。

3.次回以降ログイン手順 (スマートフォンが利用できる場合)

2-2.初回ログイン手順 パスワード設定

<https://gfsnep00.service-now.com/> にアクセスし、
下記のログイントップページが表示された場合、下記の操作を実施してください。
※下記画面が表示されず、認証画面が表示された場合は、本ページの操作は不要となります。
次頁をご確認ください。



Loginを押下

3.次回以降ログイン手順

認証画面にてLanguageを日本語に変更したうえで、ユーザ名、パスワードを入力し、ログインを押下してください。

※ユーザ名：『【UIM】アカウント発行完了通知』に記載のユーザー名（Username）

パスワード：初回ログイン手順で設定したパスワード

The diagram illustrates the login process in three stages:

- Initial State:** The login form has fields for "User name", "Password", and "Language". The "Language" dropdown menu is set to "English".
- Language Change:** The "Language" dropdown menu is changed to "日本語" (Japanese).
- Login Action:** The "ログイン" (Login) button is highlighted with a red box, indicating the final step to be taken.

ログインを押下

3.次回以降ログイン手順

「認証アプリから検証コードを取得」のラジオボタンを選択し、続行を押下してください。

本人確認を行う

次のいずれかの方法を選択して、認証を完了します。

認証アプリから検証コードを取得

以下に送信された検証コードを取得
kaxxxxxxx@nttdata-sms.co.jp

続行

続行を押下

3.次回以降ログイン手順

OktaVerifyに表示されたワンタイムパスワードを入力し、ログインを押下してください。

本人確認を行う

認証アプリで生成されたコードを入力してください

メールでコードを受信します

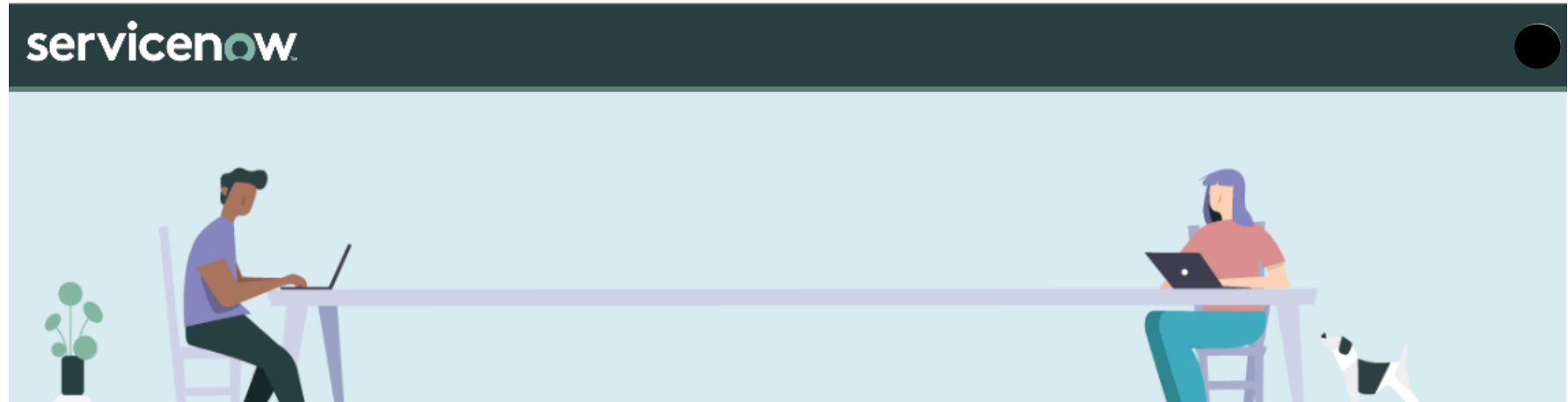
ログイン

今後1時間、このブラウザのMFAを試さない
ください

ログインを押下

3.次回以降ログイン手順

下記の画面に遷移したら、ログイン完了となります。



CISPシステム・CUREシステムへのアクセスはこちら

上記リンクからCISPシステム・CUREシステムへアクセスできます。ログインユーザの保持する権限に応じ、遷移先画面で表示されるメニューは異なります。

※本手順書はログイン方法のみ掲載となりますため、以上で終了となります。

4.初回ログイン手順 (スマートフォンが利用できない場合)

4-1.初回ログイン手順 拡張機能 (Authenticator) の導入

- ①Google Chromeの[拡張機能 \(Authenticator\)](#) へ遷移し、「Chromeに追加」ボタンをご選択ください。

- ・ Google Chrome利用者の場合

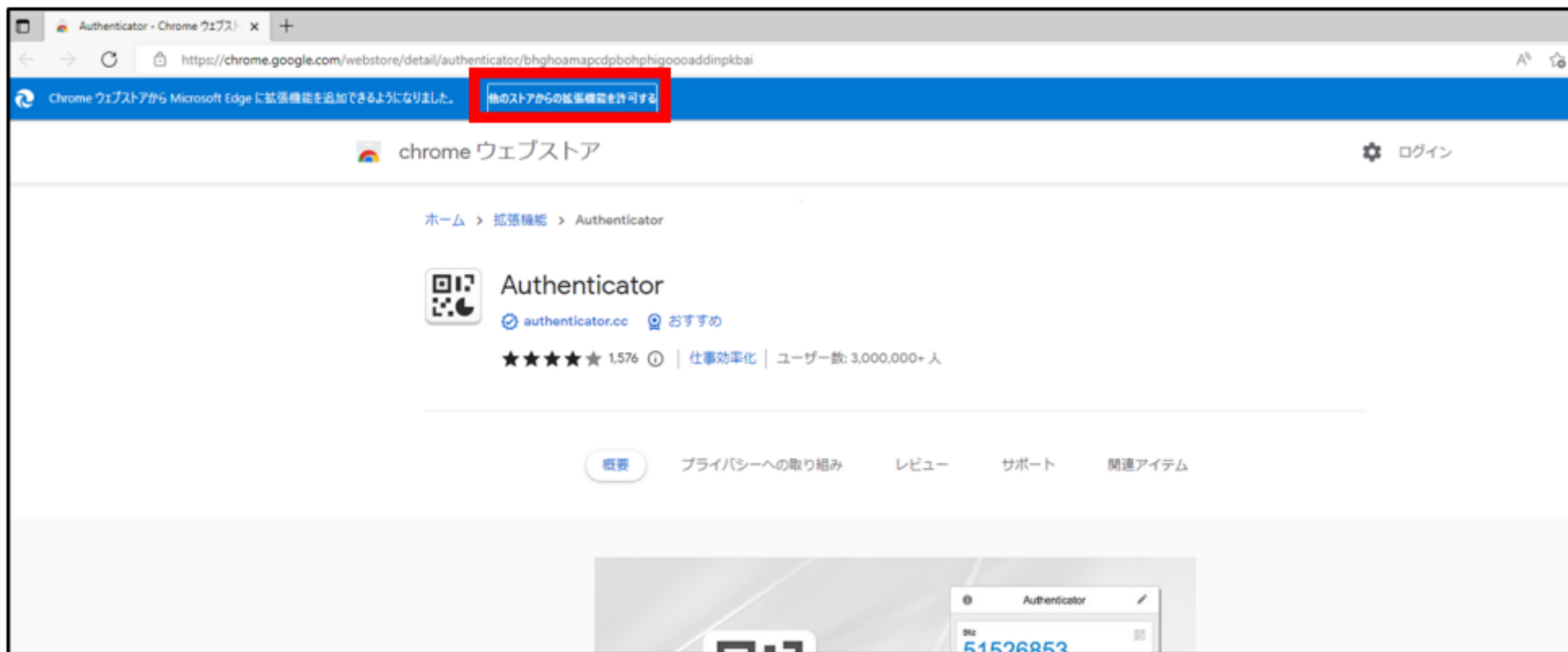


4-1.初回ログイン手順 拡張機能 (Authenticator) の導入

- Microsoft Edge利用者の場合

画面上部の「他のストアから拡張機能を許可する」ボタンをご選択ください。

※選択することで前ページの画面が表示されるため、「Chromeに追加」ボタンをご選択することでGoogle Chromeの拡張機能を使用できるようになります。



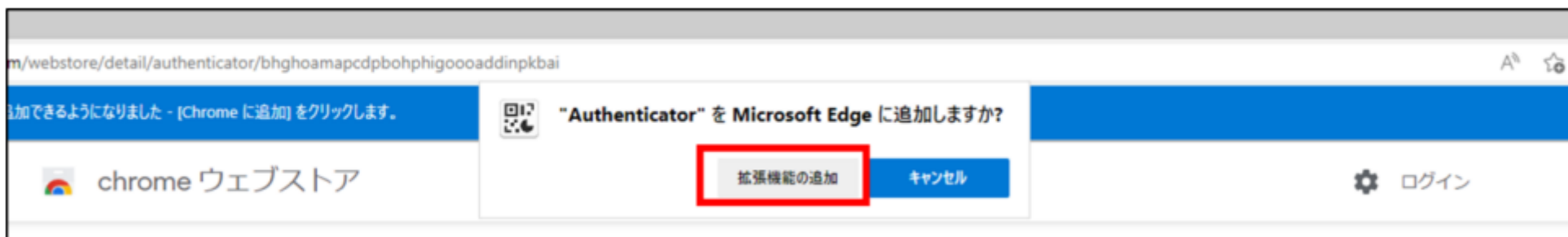
4-1.初回ログイン手順 拡張機能 (Authenticator) の導入

②ページ上部に表示される確認メッセージ (「Authenticator」を追加しますか?) の「拡張機能を追加」ボタンをご選択ください。

・ Google Chrome利用者の場合



・ Microsoft Edge利用者の場合

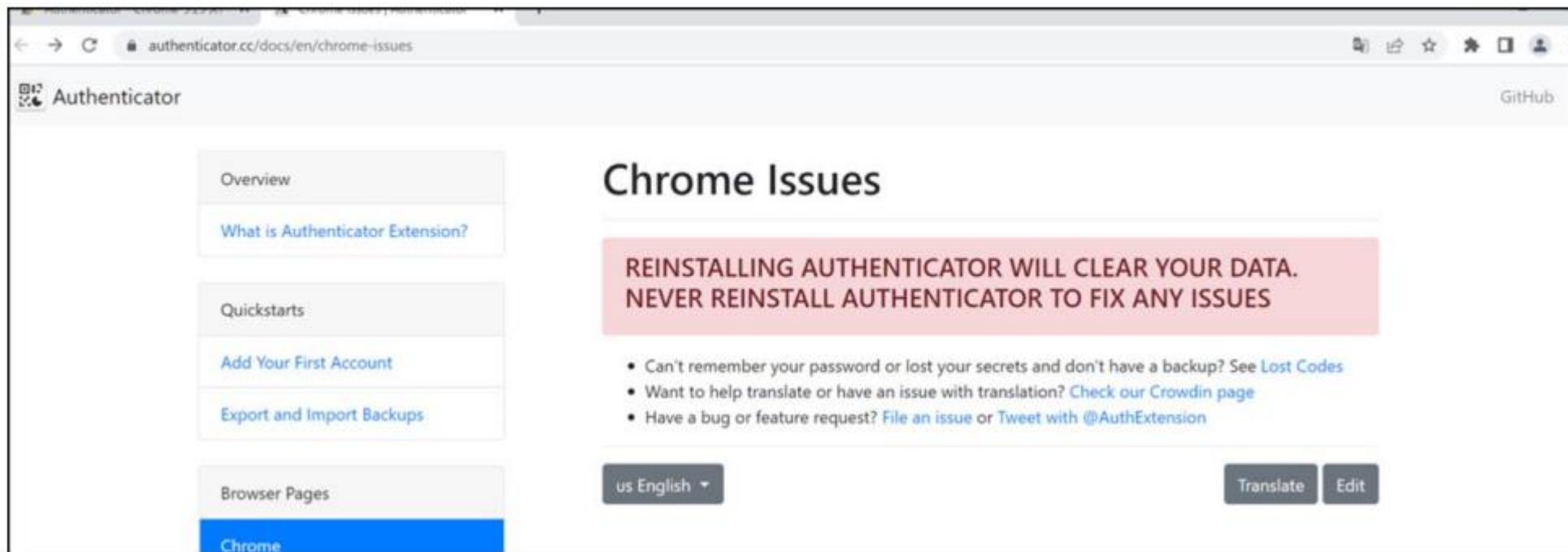


4-1.初回ログイン手順 拡張機能 (Authenticator) の導入

③拡張機能追加後の確認方法

- Google Chrome利用者の場合

「Chrome Issues」と記載されたページが表示されていることをご確認ください。



4-1.初回ログイン手順 拡張機能 (Authenticator) の導入

③拡張機能追加後の確認方法

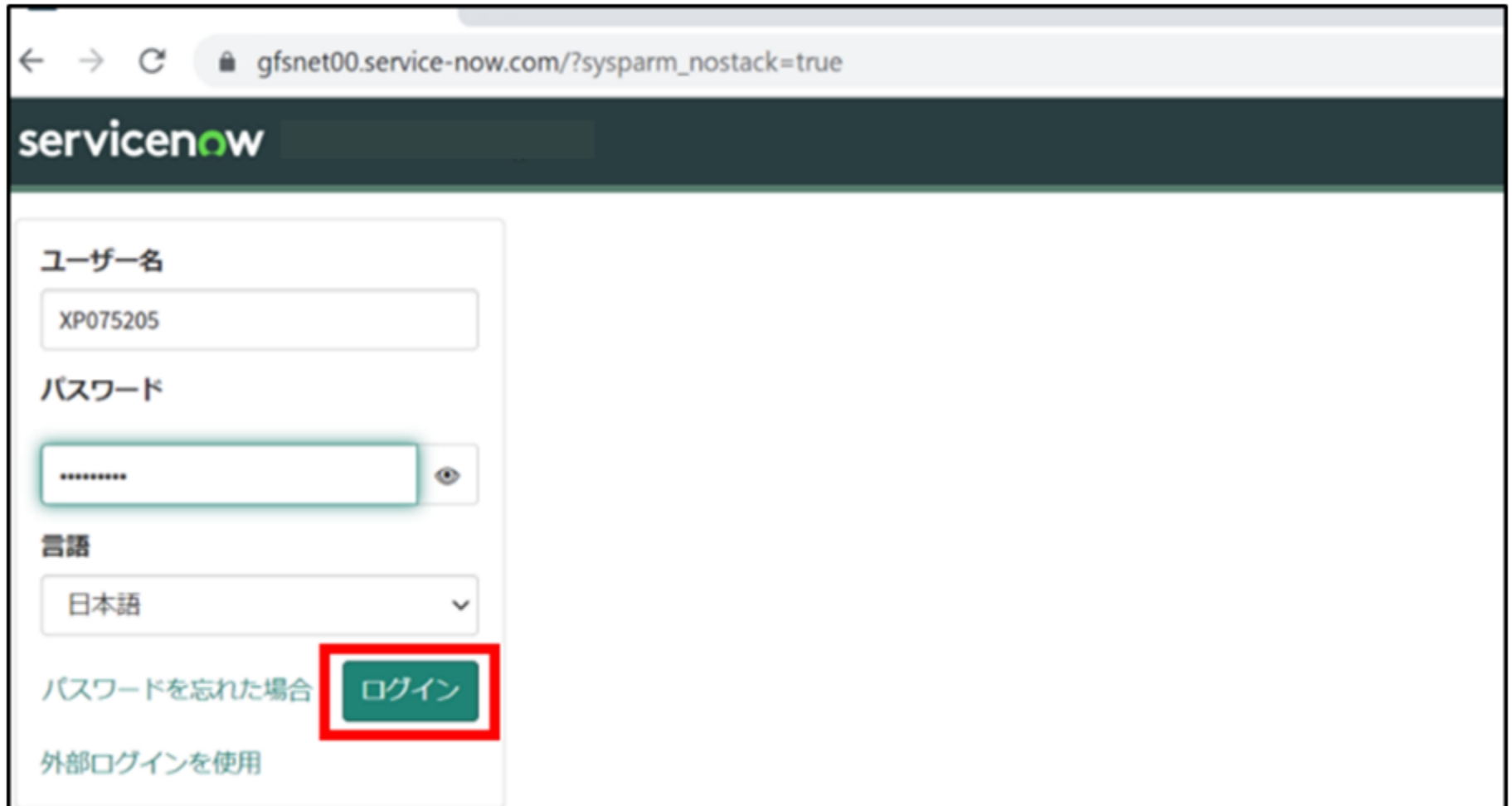
- Microsoft Edge利用者の場合

「Authenticator が Microsoft Edge に追加されました」が表示されていることをご確認ください。



4-2.初回ログイン手順 CUREシステムへログイン

[CURE-ログインページ](#)に遷移後、ユーザー名とパスワードを記入し、最後に「ログイン」ボタンをご選択ください。



The screenshot shows a web browser window with the URL `gfsnet00.service-now.com/?sysparm_nostack=true`. The page header displays the ServiceNow logo. The login form contains the following elements:

- ユーザー名** (Username): A text input field containing `XP075205`.
- パスワード** (Password): A password input field with a masked password `*****` and a visibility toggle icon.
- 言語** (Language): A dropdown menu currently set to `日本語`.
- パスワードを忘れた場合** (Forgot password): A link for password recovery.
- ログイン** (Login): A green button with white text, highlighted with a red rectangular border.
- 外部ログインを使用** (Use external login): A link for external authentication.

4-3.初回ログイン手順 拡張機能 (Authenticator) のペアリング

- ①右上の「拡張機能アイコン」をご選択後、
表示された「Authenticator」をご選択ください。



4-3.初回ログイン手順 拡張機能 (Authenticator) のペアリング

②Authenticatorウィンドウの右上にある「QRコードをスキャン」 をご選択ください。



4-3.初回ログイン手順 拡張機能 (Authenticator) のペアリング

- ③ 「QRコードをスキャン」 が起動すると、QRコードを読み取ることができます。
画面上のQRコードをマウสดラッグしながら範囲選択してください。



4-3.初回ログイン手順 拡張機能 (Authenticator) のペアリング

- ④QRコードの読み取り成功の場合、画面上部に「XP***** (個人ID) 追加されました。」と表示されますので「OK」をご選択ください。



4-4.初回ログイン手順 マルチファクタ認証 (MFA) の有効化

QRコードの読み取りが完了すると、Authenticatorウィンドウにワンタイムパスワードが表示されます。

- ①右上の「拡張機能アイコン」をご選択後、表示された「Authenticator」をご選択ください。



The screenshot shows a web browser window with the URL `gfsnet00.service-now.com/nav_to.do?uri=%2Fmulti_factor_auth_setup_page.do`. The page title is "マルチファクタ認証 (MFA) を有効にする" (Enable Multi-Factor Authentication (MFA)). The page content includes three numbered steps: 1. Download a TOTP app, 2. Scan the QR code, and 3. Enter the code. A QR code is displayed in the center. A green button labeled "デバイスのペアリングとログイン" (Pair device and login) is at the bottom. On the right, an extension menu is open, showing "Authenticator" selected with a red box around it. The browser's address bar and the "拡張機能" (Extensions) icon in the top right are also highlighted with red boxes.

4-4.初回ログイン手順 マルチファクタ認証 (MFA) の有効化

② Authenticator ウィンドウに「6桁のコード」と「XP***** (個人ID)」が表示されていることをご確認ください。

例：6桁のコード → 789963

例：XP***** (個人ID) → XP075205



The screenshot shows a web browser window with the URL `ulti_factor_auth_setup_page.do`. The main content area displays the heading 「マルチファクタ認証 (MFA) を有効にする」 (Enable Multi-Factor Authentication (MFA)) with a link 「詳細を見る」 (View details). Below this, there are two numbered steps: 2. アプリを開き、この QR コードをスキャンして、モバイルデバイスをペアリングします (Open the app, scan this QR code, and pair the mobile device) and 3. 認証アプリで生成されたコードをテキストフィールドに入力します (Enter the code generated by the authentication app in the text field). A QR code is visible on the left, and a text input field labeled 「6桁のコード」 (6-digit code) is on the right. A green button labeled 「デバイスのペアリングとログイン」 (Device pairing and login) is at the bottom. An Authenticator app window is overlaid on the right, showing the name `gfsnet00`, the code `789963`, and the personal ID `XP075205`.

4-4.初回ログイン手順 マルチファクタ認証 (MFA) の有効化

- ③ Authenticator ウィンドウに表示された「6桁のコード」を入力し、「デバイスへのペアリングとログイン」をご選択ください。

The image shows a browser window displaying the MFA setup page and an Authenticator app interface. The browser window has a URL bar with 'ulti_factor_auth_setup_page.do'. The page title is 'マルチファクタ認証 (MFA) を有効にする' (Enable Multi-Factor Authentication (MFA)) with a link '詳細を見る' (View details). Step 2: 'アプリを開き、この QR コードをスキャンして、モバイルデバイスをペアリングします' (Open the app, scan this QR code, and pair the mobile device). A QR code is shown. Step 3: '認証アプリで生成されたコードをテキストフィールドに入力します' (Enter the code generated by the authentication app in the text field). A text field labeled '6桁のコード' (6-digit code) and a green button labeled 'デバイスのペアリングとログイン' (Pair device and login) are highlighted with red boxes. The Authenticator app interface shows a card for 'gfsnet00' with a 6-digit code '789963' and the identifier 'XP075205'. A red arrow points from the code in the app to the text field in the browser.

4-4.初回ログイン手順 マルチファクタ認証 (MFA) の有効化

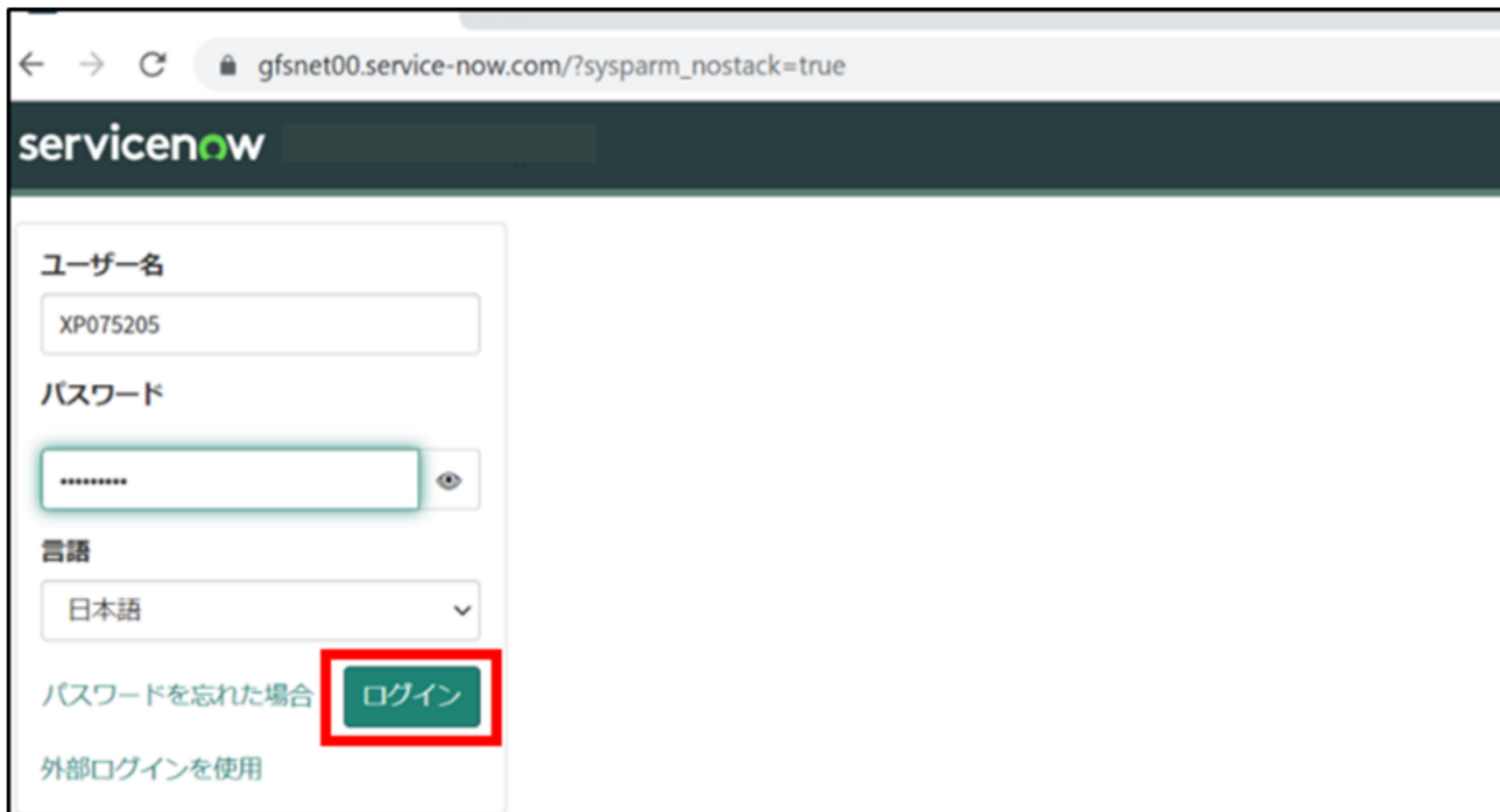
④認証処理が正常に完了した場合、CUREシステムのトップページへ遷移します。



5.次回以降ログイン手順 (スマートフォンが利用できない場合)

5.次回以降ログイン手順（スマートフォンが利用できない場合）

[CURE-ログインページ](#)に遷移後、ユーザー名とパスワードを記入し、最後に「ログイン」ボタンをご選択ください。



The screenshot shows the ServiceNow login page. The browser address bar displays the URL: `gfsnet00.service-now.com/?sysparm_nostack=true`. The page header features the ServiceNow logo. The login form includes the following fields and elements:

- ユーザー名** (Username): A text input field containing the value `XP075205`.
- パスワード** (Password): A password input field with a masked password `*****` and a visibility toggle icon.
- 言語** (Language): A dropdown menu currently set to `日本語`.
- パスワードを忘れた場合** (Forgot password): A link for password recovery.
- ログイン** (Login): A green button with white text, highlighted with a red rectangular border.
- 外部ログインを使用** (Use external login): A link for external authentication.

5.次回以降ログイン手順（スマートフォンが利用できない場合）

右上の「拡張機能アイコン」をご選択後、表示された「Authenticator」をご選択ください。



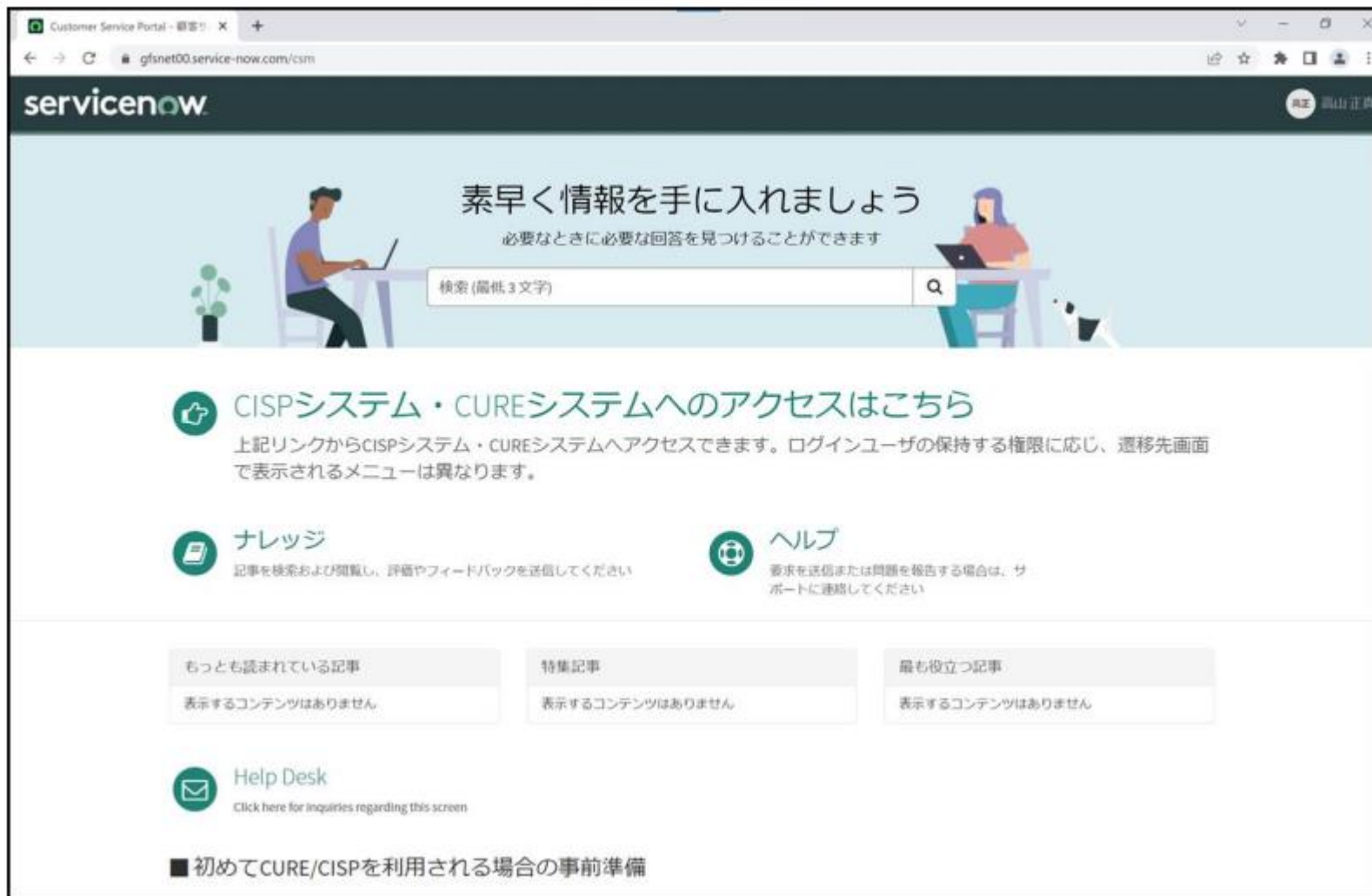
5.次回以降ログイン手順（スマートフォンが利用できない場合）

Authenticatorウィンドウに表示された「6桁のコード」を入力し、「ログイン」をご選択ください。



5.次回以降ログイン手順（スマートフォンが利用できない場合）

認証処理が正常に完了した場合、CUREシステムのトップページへ遷移します。

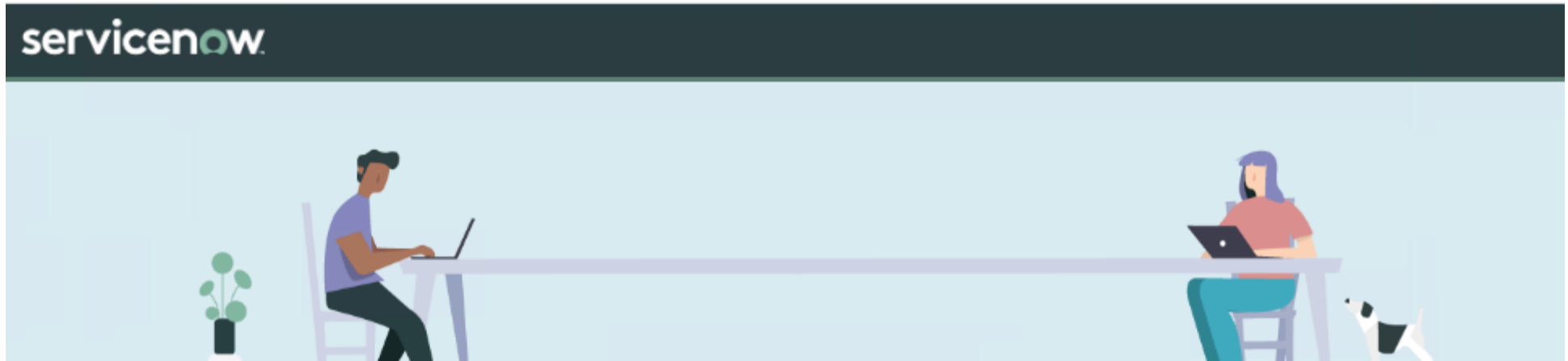


参考

参考. 既知のエラー ①ログイン後の言語変更不可

ログイン認証時に言語選択をEnglishでログインした場合、
ログイン後のサービスメニューTOPは全てEnglish表記となります。
日本語に変更したい場合の手順を説明します。

① 『Click here for access to the CISP and CURE』 をクリック



[Click here for access to the CISP and CURE](#)

You can access the CISP and CURE from the links above. The menu displayed on the migration destination screen depends on the permissions of the logged-in user.

- Advance preparations when using CURE/CISP for the first time

参考. 既知のエラー ①ログイン後の言語変更不可

②メニュー画面右上の歯車マークより、
言語設定を『日本語』に変更することで解消されます。



システムの設定

全般	
小型ユーザーインターフェイス	<input type="checkbox"/>
圧縮リストの日時	<input type="checkbox"/>
キーボードショートカットが有効になっています	<input checked="" type="checkbox"/>
ホーム	<input checked="" type="radio"/> ホームページ <input type="radio"/> ダッシュボード
日付/時刻	<input checked="" type="radio"/> カレンダー <input type="radio"/> 時間換算 <input type="radio"/> 両方
言語	<input type="text" value="日本語"/> <input type="button" value="🔄"/>
印刷対応版	English 日本語

日本語

参考. 既知のエラー ②ログイン認証時エラー

NTTデータ常駐者でBizXaaS Office (BXO) 環境等で利用する場合、ログイン認証時に下記のようなエラーが発生する場合があります。問題が解消しない場合は、自社NW環境にてご利用ください。

ログインエラー

社内ネットワーク内からは社内認証基盤を経由してアクセスしてください。

NTT DATA

NTT DATA



ユーザーにはこのアプリケーションが割り当てられていません。



Okta FastPassでサインインする

または

(NTTDATA) 社員:氏名コード 協働者:U*****
(グループ会社) ログインID_会社識別子

サインイン状態を維持する

次へ

参考. アクター別接続可否一覧

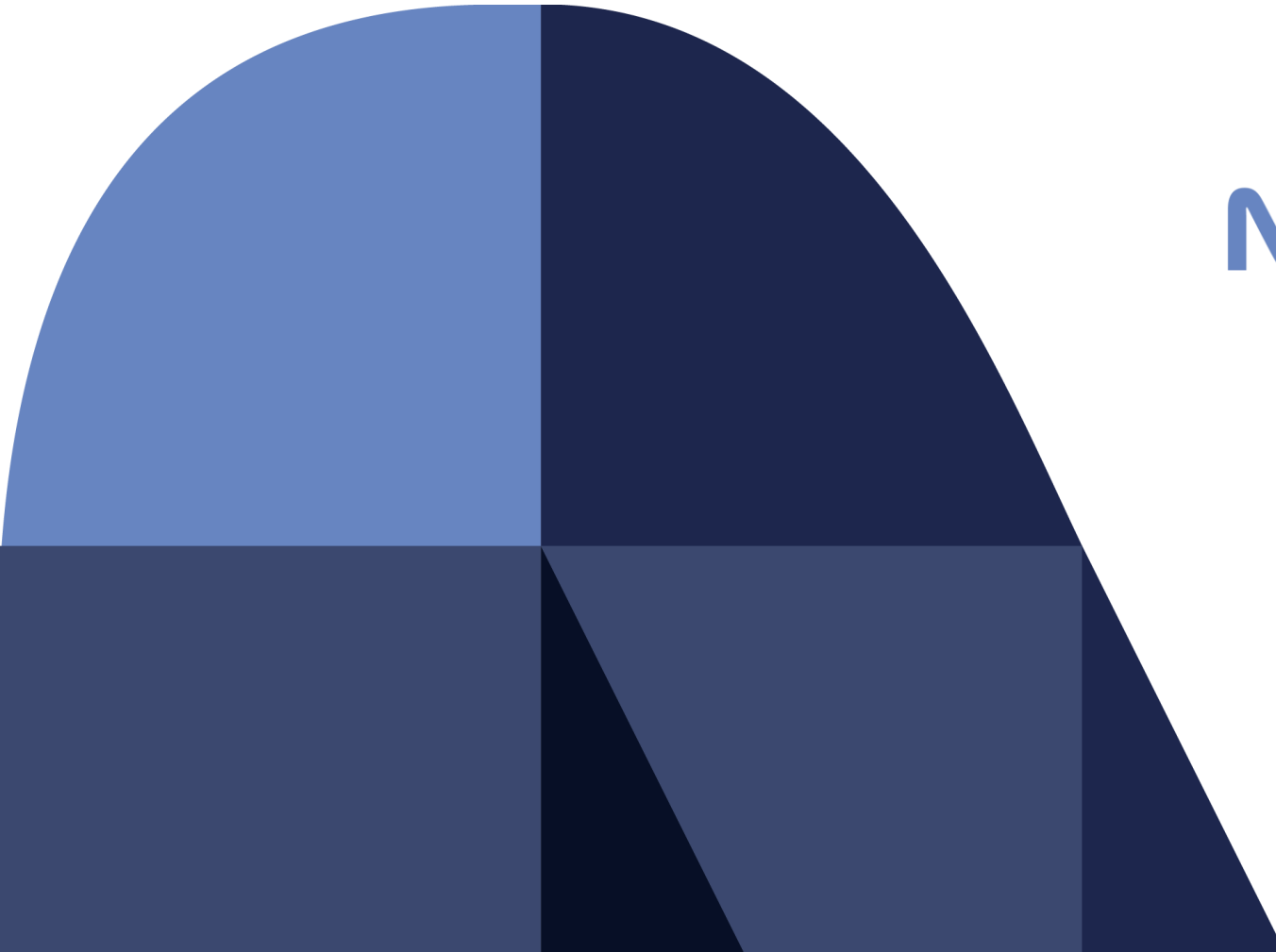
CUREシステムへのアクセス元により、ログインの際に使用するIDが異なります。
 詳細は下記の表を参照してください。

- ・ NOAネットワーク内からアクセスする場合： Uアカウント（Uで始まる番号）を使用
- ・ 社外インターネットからアクセスする場合： 個人ID（XPで始まる番号）を使用

No	システム	アクター	G会社orG会社以外	アカウント種別	使用端末	CUREシステムへのアクセス元				CUREシステム上でのパスワードリセット・変更可否
						NOAネットワーク		社外インターネット		
						okta認証	マルチファクタ(MFA)認証	okta認証	マルチファクタ(MFA)認証	
1	CURE	仕入先責任者	G会社	個人ID	GBXO	×	×	×	○	○
2					セキュアFAT	×	×	×	×	×
3					個社端末	×	×	×	○	○
4			G会社以外	個人ID	個別端末	×	×	×	○	○
5		仕入先責任代行	G会社	個人ID	GBXO	×	×	×	○	○
6					セキュアFAT	×	×	×	×	×
7					個社端末	×	×	×	○	○
8			Uアカウント	BXO/セキュアFAT	○	×	×	×	×	
9			G会社以外	個人ID	個別端末	×	×	×	○	○
10		Uアカウント	BXO/セキュアFAT	○	×	×	×	×	×	
11		仕入先担当者	G会社	個人ID	GBXO	×	×	×	○	○
12					セキュアFAT	×	×	×	×	×
13					個社端末	×	×	×	○	○
14			Uアカウント	BXO/セキュアFAT	○	×	×	×	×	
15			G会社以外	個人ID	個別端末	×	×	×	○	○
16			Uアカウント	BXO/セキュアFAT	○	×	×	×	×	×
17		事業部担当者	-	社員アカウント	BXO/セキュアFAT	○	×	×	×	×

改定履歴

更新日	バージョン	概要
2023/1/25	1.00	新規作成
2023/3/6	1.01	URL等一部修正
2023/10/16	1.02	内容一部追加



NTT DATA
Trusted Global Innovator